

豊中市認知症予防教室事業 質問回答票

	質問事項	質問理由	回答
1	対象者の総人数は、ワンクール20名想定。3エリアのため、全部で60人ということで間違いはないか。	説明会時の質問	間違いありません。1クール1か所での開催、年間総人数が60名と理解ください。ただし、状況により60名を超えるかもしれません。
2	開催方法について、対面開催が原則とは思いますが、オンラインの開催を織り込んでよいのか。	説明会時の質問	教室に通うことや対人交流にも意義があると考えているため、すべて対面での開催としてください。
3	1回120分とあるが、教室の前後に実施するバイタルチェックは120分の中に含まれるのか。	説明会時の質問	バイタルチェックも含めて全部で120分とします。
4	バイタルチェックについて、体温、血圧、心拍についての簡易測定という認識で良いか。最低網羅すべき項目があればご教示ください。	説明会時の質問	持病がある方も多く参加します。運動実施の可否基準となる血圧、脈拍、体温は必須とします。さらに別の項目を追加してもらっても構いません。
5	従事者の配置について、作業療法士一名以上とあるが、理学療法士で代替することは可能か。コグニサイズの指導は理学療法士でも差し支えないと考える。	説明会時の質問	作業療法士に限定とします。コグニサイズの運動指導のみではなく、認知症や集団療法の専門知識を有するという点も考慮し、作業療法士に実施いただく方が効果的であると考えています。
6	保険料の設定についてなにか条件はあるか？レクリエーション保険ということでよいのか？	説明会時の質問	委託料には保険料も含まれることを説明するための記載であり、保険料そのものの基準は特に指定はいたしません。
7	保険の内容は企業側から提案するということがよいのか。	説明会時の質問	お見込みの通りです。
8	募集要項にある企画提案書の枚数について、10枚以内とある。別にプレゼンテーション資料を作成する場合は枚数制限はないということで良いか。	説明会時の質問	プレゼンテーション資料はパワーポイントで作成されるものと想定しています。また、企画提案書から抜粋して作成されるものであることから、多くの枚数となるとは想定していませんが、10枚を超えたらいけないということはありません。
9	「バイタルチェック等の機材について」体温計や血圧計などのバイタルチェック用の機材は、こちらで準備（購入）する形を想定か、指定はあるか。それとも、豊中市様でご準備いただいたものを利用できるのか。	弊社で機材を持ち合わせていないため、購入想定でいます。 費用面、御見積にも関係するため 確認させていただきます。	教室開催に必要な物品として、事業者で準備してください。（物品調達にあたり、指定はありません。）
10	参加者はどのぐらいの認知機能、身体機能を想定されていますか。あわせて募集はどのようにおこなわれますか。	参加者の身体機能、認知機能によって内容のレベル調整が必要だと考えております。過去の経験でグループ内でのクラス分けが必要となったこともあります。	認知機能としてはMCIレベル又は、その疑いのあるレベルの方です。身体機能としてはADL自立されており、会場まで自身で通えるレベルの方を想定しています。募集は前記のレベルに当てはまる方を地域包括支援センターの認知症地域支援推進員に紹介、教室案内をしていただき、同意のあった方を参加者とします。
11	参加者は集合するが、インストラクターのみオンライン、看護師等は現場にいる形で実施することは不可か。	認知機能の程度によっては、特別な対応をする経験豊富なインストラクターが必要であり、手配が制限されるため。	集合対面型での実施が必須であるため、作業療法士がオンラインは不可とします。従事人員を各職種会場に配置した上で、ゲスト講師として薬剤師や管理栄養士、歯科衛生士等その他専門職を招聘することは可能です。その場合も原則対面集合型を必須とします。しかし、どうしても特別な対応をする経験豊富な講師による講演が必要な場合に限り、オンラインによる講義等をプログラムに企画することは差し支えありません。
12	当該事業は新規事業でしょうか。過去の実施内容について公開可能でしたらご提示をお願いしたい。	計画の参考とするため	令和2年度から直営実施しています。WHOガイドライン、厚生労働省・国立長寿医療研究センター認知症予防マニュアル、その他、鳥取県・大分県などの認知症予防プログラム等を参考に実施しています。実施内容を踏まえて仕様書を作成しているため参考にしてください。
13	教室参加者の具体的な現在の状況などの情報について、どのくらい事前に情報として教えていただけるのか。	教室の運営にあたり、参加者に合った適切な内容のプログラムを提供するため。	事前のカンファレンスの際、情報共有を予定しています。第1クールのカンファレンスは4月末を予定しています。
14	実施する曜日や時間について、設定の決定方法（受託者側で決めることができるのか）、決定する時期はいつか	プログラムの運営にあたり、把握が必要なため	会場押さえの関係で、曜日、時間は委託者側の決定になります。第1クールは5月9日～7月25日までの毎週火曜日、午後の時間帯を予定しています。
15	会場について、どういった場所を予定しているか。場所、広さ、構造など。	プログラムの運営にあたり、把握が必要なため	第1クールは千里公民館を予定しています。第2、3クールは中部、南部地域の豊中市公共施設で実施予定です。いずれも参加者が十分なスペースが確保できる広さの会場を用意します。

16	会場でテレビ、プロジェクター、スクリーン、スピーカー、マイク、ホワイトボードなどがある場合、借用することは可能か。	予算立案の参考にするため	第1クールの千里公民館は、机、いす、マイク、案内板は貸出可能（利用料は無料）です。第2クール第3クールは会場が未定のため、不明です。原則、必要物品は事業者で確保してください。
17	効果検証についてデータの解析はどの程度まで求められるか。（統計解析など）	適切なプログラムの立案、事業報告書を作成するため。	データの前後比較等では統計解析も含めて実施を要します。
18	効果検証について必ず取らなければならない検査項目はあるのか。	適切なプログラムの立案、事業報告書を作成するため。	特に規定はございません。
19	プログラムの中で、飲食物の提供は可能か。	プログラムの中で、運動後にたんぱく質を含むゼリーの提供を検討しているため。	水分補給等教室内で促していただく必要があります。それ以外の提供物については、プログラムの効果を促進する内容であり、エビデンスや実証研究を踏まえたものであることとします。提供する場合は食物アレルギーの問題等に配慮し安全性の確保に留意が必要です。
20	参加人数や参加者の機能レベルにより、評価の内容を変更してもよいか。	参加者の負担軽減のため。	効果検証に影響がある可能性があるため、評価は統一してMCIレベルまでの方が負担なく実施できるような内容をご提案ください。
21	豊中市が実施していた認知症予防教室で加入している保険はあるのか。あれば教えていただけないか。	予算立案の参考にするため。	自治体向けの市民総合賠償補償保険での対応としています。
22	プログラム内の講話について配置の従事者で作業療法士、看護師、補助員など誰が話してもいいか、もしくはスポットで別人員が行ってもいいか。	人員配置計画等を考える中で知りたい情報の為。	講話の実施者に関しては配置の従事者や別人員の指定はございません。
23	音響映像機器を持ち込み、それを使用しているプログラムは可能か。	より良いプログラム作成と教室提供を目的にしたい為。	具体的なプログラム内容がエビデンスに基づいているものであればご提案していただければ結構です。ただしご提案のプログラムを実施するか否かは協議の上、判断させていただきます。
24	デュアルタスク運動が入っていれば、コグニサイズ以外の認知課題・音楽療法・回想法・運動療法等の実施プログラムや実施日があっても問題は無いのか。	様々な角度から認知症予防にアプローチしたい為。	具体的なプログラム内容がエビデンスに基づいているものであればご提案していただければ結構です。ただしご提案のプログラムを実施するか否かは協議の上、判断させていただきます。
25	カンファレンスの参加者に規定はあるか。（必ず作業療法士出席等）	実施内容・人員配置計画の把握の為。	作業療法士、保健師又は看護師は出席を必須とします。補助員はその限りではありません。
26	認知機能測定に規定はあるか。HDSR等。1人1人対面で実施する必要があるか。	実施内容・人員配置計画の把握の為。	特に規定はございません。参加者の負担を考慮し、かつ教室や個人の効果測定が行える評価のご提案をいただければと思います。
27	体力測定に例はあるが内容はこちらで決めていいのか。	安全面を含めて人員配置計画を考えたい為。	握力、5回立ち上がり、TUGは必須項目とし、その他はご提案のもと、委託者と協議の上、決定とします。
28	体力測定実施はクール毎の初日、最終日の実施であっているか。	提案にあたり確認の為。	お見込みの通りです。
29	補助員の基準詳細が知りたいです。 例) 福祉業務内に、各地域で介護予防教室の運営指導経験があれば福祉業務にあてはまるのか。	提案にあたり確認の為。	例に示された業務経験は福祉業務とみなします。